



無線機・PHSの通信途絶と重量負担を解消 スマホ集約で迅速な情報連携を実現

京王プラザホテルでは、宿泊部、経営企画部の購買担当、料飲宴会部などでBuddycomを活用しています。日常の業務連絡や指示、お客様情報の共有をはじめ、各部署の業務に合わせた連絡手段として運用しています。

導入前は、**無線機やPHSの通信が不安定なことが共通の課題**でした。宿泊部では階層間で通信が途切れて連絡が届かないことが頻発し、無線機の重量を負担に感じるスタッフもありました。購買担当では、PHSの接続が不安定で会議中など応答できない時間帯があり、問い合わせ対応や情報確認の遅れが商品トラブルや緊急時対応の遅延につながっていました。

料飲宴会部では、ドアマンと宴会スタッフの2方向からの情報を一度に得ることが難しいうえ、イヤホンマイクのクリップでユニフォームを傷めたり、無線機本体の重量やコードが煩わしかったりと、お客様サービスに支障をきたすこともありました。

こうした課題に対し、**安定した通信とスマートフォンへの集約による物理的負担の軽減、そしてマルチグループ受信で各担当からの情報を一度に拾える点**を評価し、Buddycomを導入しました。



安定した通信と多彩な機能で 部署ごとの業務改善を実現

主な使用機能



グループ通話



音声テキスト化



通話履歴の再生



翻訳

安定通信と軽量化で、 複数グループの運用も円滑に

宿泊部では、軽量のスマートフォンとBuddycomの活用で安定した通信を実現し、物理的な負担も軽減しました。

メインとは別のグループに通話ボタンを割り当てられるセカンドグループ機能で、2つのグループへの発信を切り替えながら円滑に連携できています。

2方向の情報を一度に把握 日報作成も時短

料飲宴会部では、課題だったドアマンと宴会スタッフの2方向からの情報を一度に拾えるようになりました。コードレスのヘッドセット型イヤホンで使用頻度が格段に向上し、ユニフォームのほつれも気にせず運用できます。購買担当では発話内容が編集不可のテキストで残り、日報作成時の履歴・文字起こし確認も時短につながっています。



導入前の課題

- 無線機やPHSの通信が不安定で、階層間の通信途絶や応答不能な時間帯があった
- 無線機の重量やイヤホンのコード・クリップがスタッフの負担・サービスの支障になっていた
- チャンネルを切り替えないと各担当からの情報を受け取れなかった

ご担当者からのメッセージ

Buddycomを導入したことによって、無線機やPHSを利用していた際に課題となっていた、フロアをまたいだ通信の途絶や、重量による負担を解決できた他、発話内容の録音・テキスト化や、複数チャンネルを同時に運用しやすいことで業務効率改善につなげることができました。今後、他のセクションでの導入も含め、Buddycomの活用を検討してまいります。



株式会社サイエンスアーツ

東証グロース:4412

www.buddycom.net